

令和6年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業

事業説明会

●次第●

- 1.事務局より挨拶
- 2.事業概要、活動タイプ、交付金の単価・使途
- 3.申請について、採択申請書類の様式と変更点
- 4.実績書類の様式説明と注意点
- 5.質疑応答

2.事業概要

森林は

- ・土砂災害の防止
- ・水源の涵養
- ・生物多様性
- ・休養の場

など多面的な機能があります。

→維持するため、森林を適正に整備・保全することが重要

しかし、

- ・山村の過疎化・高齢化
- ・木材自給率の低下
- ・森林との関わりが希薄
- ・森林の手入れがされず放置

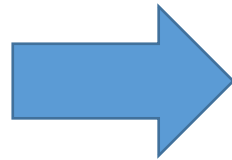
→ 藪化の進行や竹の侵入森林が問題

- ・森林ボランティア ・地域住民 ・民間団体などが行う
里山林保全や森林資源活用の為の活動を

国・県・市町が活動費用を支援



荒れた森林



整備された森林

メインメニュー

①【地域環境保全タイプ】

①-1 里山林保全

①-2 侵入竹除去・竹林整備

②【森林資源利用タイプ】

サブメニュー（メインメニューと組合せが必要）

③【森林機能強化タイプ】

④【関係人口創出・維持タイプ】

活動推進費(1年目のみ)

対象となる活動: 現地の林況調査や活動計画実施のための話し合い、安全講習会、モニタリング、林況整理等



活動計画実施のための話し合い



林況整理



安全講習

メインメニュー

①-1【地域環境保全タイプ】里山林保全

対象となる活動：雑草木の刈払い・集積・処理、風倒木・枯損木の除去・集積・処理 等



機械作業(チェーンソー・刈払い機)



普通作業

メインメニュー

①-2【地域環境保全タイプ】侵入竹除去・竹林整備

対象となる活動：竹・雑草木の伐採・搬出・処理 等



機械作業(チェーンソー)



普通作業

メインメニュー

②【森林資源利用タイプ】

対象となる活動：雑草木の刈払い・集積・処理、木質バイオマス・炭焼き・しいたけ原木・伝統工芸品原料のための未利用資源の伐採・搬出加工 等



薪割り



しいたけ原木



ツバキの実の収穫

サブメニュー

③【森林機能強化タイプ】

対象となる活動：森林整備のための作業道の作設・鳥獣害防止柵の設置 等



作業道の作設



鳥獣害防止柵の設置

サブメニュー

④【**関係人口創出・維持タイプ**】

対象となる活動：受入の為の調整・環境整備、関係人口（地域外関係者）と一緒に森林整備活動及び森林資源利用活動・意見交換 等

※申請時に10名以上の参加者を確定させておく必要があります。



森林整備体験



薪割り体験



意見交換

①事前打合せ



②受入準備(整備等)



③森林整備及び森林資源活動



④意見交換



交付金の単価 ※国・県・市町

活動タイプ	1年目	2年目	3年目	
活動推進費	150,000円	-	-	
【地域環境保全タイプ】 ①-1里山林保全 【②森林資源利用タイプ】	160,000円	153,334円	146,668円	1haあたり
【地域環境保全タイプ】 ①-2侵入竹除去・竹林整備	380,000円	353,334円	326,668円	1haあたり
【③森林機能強化タイプ】	1,068円	1,068円	1,068円	1mあたり
【④関係人口創出・維持タイプ】	66,668円	66,668円	66,668円	1年間

交付金の使途

活動タイプ	主な交付金の使途
活動推進費	<p>人件費(普通作業)のみ</p> <p>(安全対策)傷害保険料、ヘルメット、手ノコ、安全靴、長靴、軍手、保護メガネ 等</p> <p>(作業用)手ノコ、ナタ、カマ 等</p>
<p>【地域環境保全タイプ】</p> <p>里山林保全</p> <p>侵入竹除去・竹林整備</p> <p>【森林資源利用タイプ】</p> <p>【森林機能強化タイプ】</p>	<p>人件費(普通作業)、人件費(機械作業 ※チェーンソー、刈払機等)</p> <p>(安全対策)傷害保険料、ヘルメット、手ノコ、安全靴、長靴、軍手、保護メガネ、防振手袋、チャップス 等</p> <p>(作業用)手ノコ、ノコギリの替刃、ナタ、カマ、ロープ、樹木テープ、燃油代、オイル携行缶、ガイドバー、刈払機の替刃、ソーチェーン 等</p>
<p>【関係人口創出・維持タイプ】</p>	<p>地域外関係者受入の為の調整・環境整備等の人件費</p> <p>(当日の人件費はメインニュー)</p> <p>(安全対策)傷害保険料、ヘルメット、手ノコ、安全靴、長靴、軍手、保護メガネ 等</p> <p>※地域外関係者用</p> <p>(作業用)手ノコ、ノコギリの替刃、ナタ、カマ 等</p> <p>※地域外関係者用</p>

3.申請について

申請の条件

- 3人以上で団体を結成(規約ひな形あり)
- 対象面積が0.1ha(1,000m²)以上
- 森林経営計画の対象外
- 3年間の活動ができる

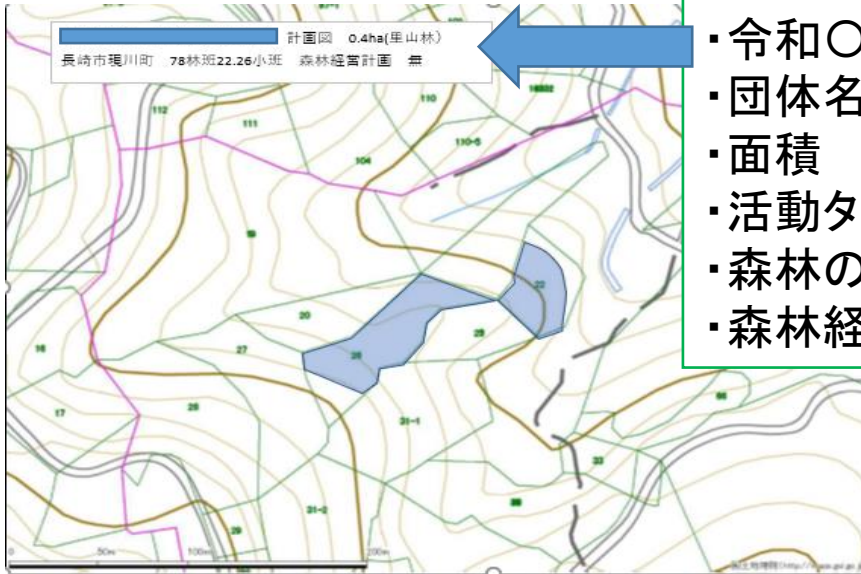
採択申請書類の様式説明と変更点

申請に必要な書類 ※計画図・現況写真以外の様式は、ホームページでダウンロードできます。

	提出書類	変更点
1	申請者概要	
2	採択申請書	
3	活動計画書	
4	資機材購入表	
5	参加同意書	
6	規約	
7	協定書	
8	計画図(1/5000以上)★	
9	現況写真(各タイプ3枚以上)★	
10	個別規範:林業 事業者向けチェックシート	
11	環境負荷低減のクロスコンプライアンス チェックシート	新規

計画図

活動場所の森林計画図、
または縮尺5,000分の1以上の図面を添付



- ・令和〇年度
- ・団体名
- ・面積
- ・活動タイプ
- ・森林の位置
- ・森林経営計画の有無

計画図の入手法

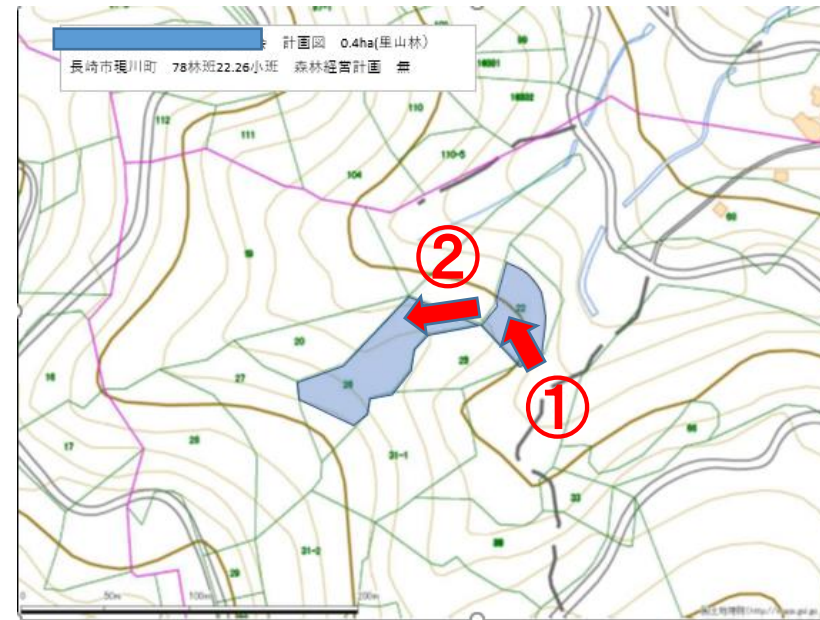
字図・・・法務局

計画図・・・振興局、市町

現況写真

- ・活動区域
- ・活動タイプ毎 に3枚以上撮影

※計画図に撮影した場所を図示



注意事項

- ・ 活動地の5年以内の転用 (売り渡し・譲渡・森林以外の用途への転用など) の場合、相当額の返還になります。
- ・ 皆伐・間伐を行う場合は、森林法第10条の8に基づく「**伐採および伐採後の造林の届出書**」の提出が必要。手続きの詳細は、対象森林のある市町村の林務担当窓口にお問い合わせください。
- ・ 森林が保安林に指定されている場合は、伐採許可等の手続きが必要となりますので、長崎県農林部林政課へお問い合わせください。

令和6年度 採択申請書提出期限(予定)

	申請期限(予定)	活動開始(予定)
1回目	令和6年5月17日(金)	令和6年8月上旬
2回目	令和6年7月末 (新規団体のみ)	令和6年10月中旬

※提出期限が変更になる可能性がございます。

採択申請書提出～実績報告書提出までの流れ

採択申請書作成・提出

①活動スケジュールの計画

- 1.) 活動地の面積、活動タイプから採択金額を把握
- 2.) 整備活動期間(スケジュール)を話し合う
- 3.) 採択金額から保険の加入期間、購入物品、人件費を話し合う

採択決定通知書 団体送付

②作業準備

- 1.) 傷害保険の加入
- 2.) 資機材の購入
- 3.) 安全講習
- 4.) モニタリング(初回調査)
- 5.) 物品購入

③森づくり作業

- 1.) 整備作業
- 2.) 集合写真・作業写真の撮影
- 3.) 出納管理

④作業終了

- 1.) モニタリング(年次調査)
- 2.) 協議会に活動終了の連絡
- 3.) 活動地の完了検査
- 4.) 実績報告書の作成

実績報告書提出

3.) 採択金額から保険の加入期間、購入物品、人件費を話し合う

人件費

- ・何人・何日・何時間で活動するかを算出
- 普通作業853円以下
- 機械作業1,448円以下

※機械作業の人件費は3年間同単価

保険の加入期間

- ・保険の未加入は交付金の対象外のため、**加入必須**
- ・保険期間内に活動終了
- ※実績書類提出時に、保険証書のコピーの提出が必要

購入物品の検討

- ・購入物品の必要数、金額を算出
- ・構成員以上の物品の購入は不可

※採択通知書の記載交付額が最終的な交付額ではなく、

- ・**領収書の合計金額** もしくは
- ・**採択決定額** (領収書の合計が採択決定額を超えた場合)

が**最終的な交付金額**です。

②作業準備

1.) 傷害保険の加入

- ・傷害保険加入は採択決定通知日以降
- ・保険の加入期間内で活動終了

2.) 資機材の購入

- ・資機材の購入は採択決定通知日以降
- ・購入物は「資機材等購入」に記載の規格・構造・数量及び2者見積の安い方
- ・↑と異なる資機材を購入する場合は、2者見積、「採択変更申請書」を提出

3.) 安全講習

- ・採択申請書に基づいてそれぞれ初回活動時に実施

4.) モニタリング(初回調査)1年目のみ

- ・活動前の状態を把握するため、調査を行う場所(調査区等)を設定し、現状を撮影

5.) 物品購入

- ・購入の日付は採択決定通知日以降
- ・構成員以上の物品購入は不可
- ・領収書が3万以上の場合、2者見積が必要

③森づくり作業

1.) 整備作業

- ・活動スケジュールに沿って、活動地全体を整備
- ※作業時は、必ず安全装備を着用

2.) 集合写真・作業写真の撮影

- ・集合写真並びに作業前の写真の撮り忘れに注意

3.) 出納管理

- ・領収書の宛名は団体名、但し書きを記入
- ・人件費の支払い後は台帳に押印

④作業終了

1.) モニタリング(年次調査)

- ・活動後、活動地の変化を確認するため、初回調査と同一箇所撮影)

2.) 協議会に活動終了の連絡

TEL:095-895-9119

3.) 活動地の完了検査

- ・構成員1名以上活動地を同行

4.) 実績報告書の作成

- ・活動終了1ヶ月以内もしくは**令和7年2月14日(金)**までに協議会に**提出**

活動記録兼作業写真整理帳(別紙3 様式第16号) 活動日毎の集合写真

令和4年度の活動記録と作業写真整理帳(集合写真)が結合

・活動日は毎回、集合写真等3枚の撮影が必要。

・撮影時は参加者全員(撮影者除く)の集合写真が必要

・様式に貼付の際は、時系列順

・1枚の用紙で4日分貼付可能

※活動参加人数の地域外関係者は関係人口創出・維持タイプの場合のみです。

(別紙3 様式第16号)
 令和5年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金
 活動記録兼作業写真整理帳(活動日毎の集合写真)

No.: _____
 組織名: _____

日付 令和〇年〇月〇日

活動項目	活動場所		
	活動内容		
	実施時間		
	活動人数参加	構成員	名
構成員以外		名	
合計		名	
うち地域外関係者		名	

日付 令和〇年〇月〇日

活動項目	活動場所		
	活動内容		
	実施時間		
	活動人数参加	構成員	名
構成員以外		名	
合計		名	
うち地域外関係者		名	

作業写真整理帳(別紙3 様式第16号 別添) 活動場所毎の作業写真

活動推進費以外毎回の撮影は不要

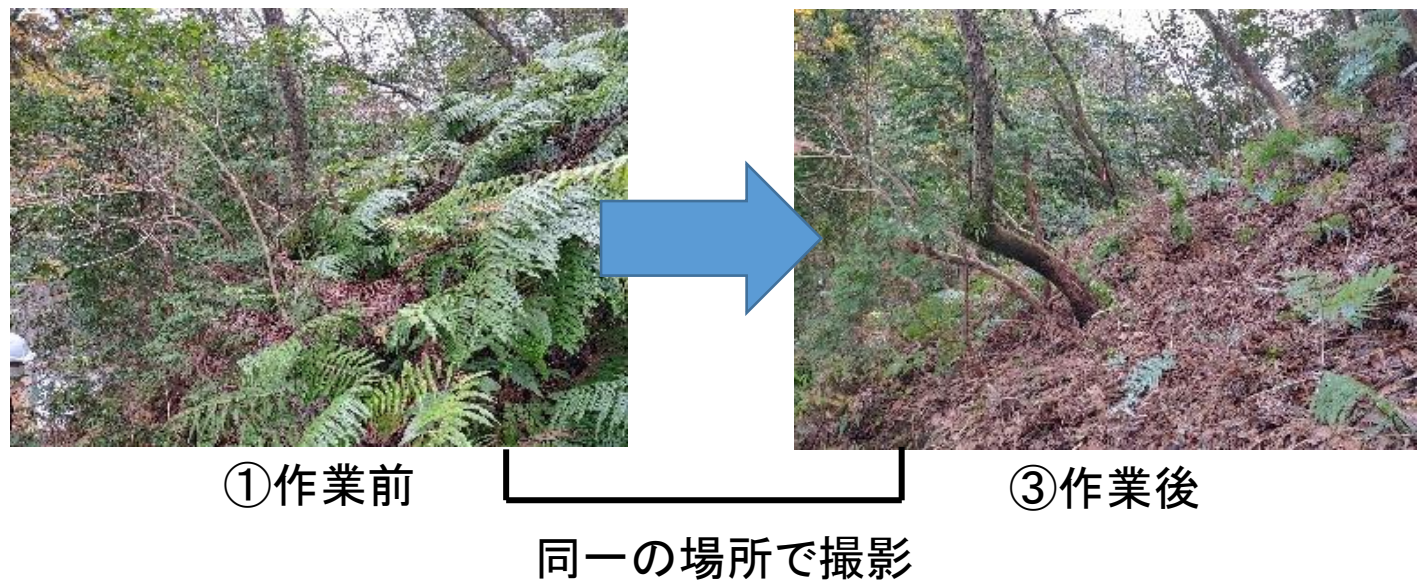
※集合写真を除いた3枚を貼付

- ①作業前(活動場所での整備前の状況)
- ②作業中(活動場所で、作業している様子を撮影)

※参加者が作業している様子を撮影

機械作業時はチェーンソー・刈払機

- ③作業後(活動場所での整備後の状況)



(別紙3 様式第16号 別添)
作業写真整理帳(活動場所毎の作業写真)

No.: _____
組織名: _____

作業前 令和〇年〇月〇日

活動項目	_____	
取組内容	活動場所	_____
	活動内容	_____

①

作業中 令和〇年〇月〇日

②

1 ページ

作業後 令和〇年〇月〇日

③

作業写真整理帳(別紙3 様式第16号 別添) 活動場所毎の作業写真

活動タイプ	撮影枚数		
活動推進費	活動時毎回	作業中	3枚
地域環境保全タイプ ①-1里山林保全 ①-2侵入竹除去・竹林整備 ②森林資源利用タイプ	作業面積で写真の枚数が変動 ※点在箇所、タイプ別がある場合は、それぞれ撮影が必要		
	0.1ha～0.9ha	作業前・作業中・作業後	1枚ずつ
	1.0ha～5.9ha	作業前・作業中・作業後	2枚ずつ
	6.0ha～10.9ha	作業前・作業中・作業後	3枚ずつ
	11.0ha～	作業前・作業中・作業後	4枚ずつ
③森林機能強化タイプ	100m毎	作業前・作業中・作業後	1枚ずつ
④関係人口創出・維持タイプ	関係人口当日	作業中	3枚
	※環境整備等事前準備時は不要		

撮影枚数が分からない場合は、協議会にご連絡ください。

モニタリング結果報告書(別紙3 様式第18号)

3年後は達成率が100%になるよう無理のない目標を立てる

(別紙3 様式第18号) 令和5年度 モニタリング結果報告書

活動組織名: ○○町の森を守る会


1 活動の目標等

タイプ名: 地域環境保全(里山林保全) 目標

モニタリング調査方法: 相対幹距比 1年目に杉人工林への侵入竹を除去0本とし、2年目以降100㎡あたり4本の間伐(28%間伐)を行い、相対幹距比を2ポイント改善する。

2 活動実施前の標準地の状況(令和5年度)


標準地の状況 100㎡円形調査区中、上層到達木18本(内侵入竹5本)。平均樹高18m。相対幹距比は竹を除いて14.8となる。

写真 

3 活動計画1年目の標準地の状況(令和5年度)

標準地の状況 100㎡円形調査区中、上層到達木14本、侵入竹及び灌木の除去0本。相対幹距比14.8となる。

目標達成度: 30%

写真 

次年度に向けた改善策 間伐前に侵入竹を除去整理し、間伐に向けた事前準備を行っていく。

効果チェックシート(様式第19号 別紙2)

□の部分が変更点

(別紙3 様式第19号 別紙2) 森林・山村多面的機能発揮に対する効果チェックシート

1. 活動組織の概要

①活動組織名		取得年数	年
②主な対象森林の所在地	都道府県	市区町村	
③活動計画の取組年度	<input type="checkbox"/> 1年目 <input type="checkbox"/> 2年目 <input type="checkbox"/> 3年目		
④活動タイプ等(○年度)	<input type="checkbox"/> 活動推進費 <input type="checkbox"/> 里山林保全 <input type="checkbox"/> 竹林整備 <input type="checkbox"/> 森林資源利用 <input type="checkbox"/> 森林機能強化 <input type="checkbox"/> 関係人 <input type="checkbox"/> 資機材購入		
⑤地域住民の比率	<input type="checkbox"/> 90%以上 <input type="checkbox"/> 75~90% <input type="checkbox"/> 50~75% <input type="checkbox"/> 25~50% <input type="checkbox"/> 25%未満		
⑥活動目標			

※③・④・⑤欄は、該当する□又は○にチェックを付けてください。

2. 活動の変化・成果の確認(※本交付金の取得前と比較の上でご回答ください。)

※以下の項目について、実現ができていないと思う場合は、右側の□にチェックを入れてください。
※チェック欄は、活動計画1年目の時は「1年間」、2年目の時は「2年間」、3年目の時は「3年間」の活動を通じた変化・効果を記載してください。

項目	効果	チェック欄
活動の(横展開)の広がり	活動組織の構成員数が増加した	<input type="checkbox"/>
	幅広い年齢層が協力して活動を行った	<input type="checkbox"/>
	新聞や雑誌、広報誌などで活動を紹介された	<input type="checkbox"/>
	他団体(活動団体、企業、自治体等)との協力関係がうまれた	<input type="checkbox"/>
	外部(異なる集落や都市)の住民も森林整備活動に参加した	<input type="checkbox"/>
活動の(自立性)の持続	構成員が森林整備のための技術や安全管理の資格を取得した	<input type="checkbox"/>
	森林整備のための機材や道具を使用できる構成員数が増えた	<input type="checkbox"/>
	森林整備のために利用可能な本交付金以外の資金が増えた	<input type="checkbox"/>
	若い世代(40歳未満)が参加しており、長期的な活動が可能である	<input type="checkbox"/>



活動時の注意点



1. 金銭の支出は採択通知書の日付以降から。
2. 資機材は見積書と同一のものを見積もり先から購入する。
3. ヘルメットの着用は必須。
活動写真内でヘルメット着用でない場合、差し替え。
4. 活動賃金は3か年は変更不可
5. 領収書が3万以上の場合、2者見積が必要
6. 保険の加入
(実績書類提出時に、保険証書のコピーの提出が必要)

- ・活動終了後1ヶ月以内
- ・令和7年2月14日(金)必着の早い方

印刷済の実績書類及びデータを郵送

※書類の確認・修正等のやりとりがありますので、
令和7年1月31日を目途に
実績報告書をご提出いただきますようお願いいたします

- ・購入できるものを確認したい
- ・写真の撮り方が分からない
- ・書類の書き方を教えて欲しい

・・・etc

ご不明な点などございましたら、協議会にご連絡をお願いします。

TEL:095-895-9119 FAX:095-895-8654

MAIL:nagasaki@shinrin-sanson.jp

〒850-0834

長崎市勝山町37番地長崎勝山37ビル 本館2階F室